

議会だより



議長・副議長就任あいさつ、議会構成図	2~3
令和3年度 一般会計補正予算	4~5
令和4年度予算	6~7
常任委員会の動き	8
議案・採決一覧	9~10
一般質問	11~15
がんばる人【シリーズ第1回】	16
編集後記	16

がんばる人【シリーズ第1回】

おおしま いつき
大嶋 巖さん(37才・菅浜)

議長あいさつ

議長 山口和治



いつ誰が感染してもおかしくないと言われ世の中を驚異にさせているコロナ禍の中ではありましたが、12年ぶりに無投票でなく選挙が行われ、新しく今期の議会が始まりました。

この度の3月の定例議会にて議長に就任させて頂きました山口です。どうぞよろしくお願い致します。

さて、冒頭にも申しましたコロナ禍において様々な行事計画が開催できませんでした。また経済の景気回復もままならないことは申すまでもない状態であり、町もこの打開策をと努力をかかさねているところでもあります。

歴代議長の思いであります「開かれた議会」を目指し、会議等のライブ映像配信を実現するよう協議を重ねてまいります。

北陸新幹線敦賀開業・駅から庁舎までの道の整備・駅前広場・道の駅・三方五湖遊覧船・レインボーライン・サイクリングロード等の観光と、さらに原子力発電の様々な課題をクリアし、更にまた滋賀県へ抜ける道路の整備など多くの課題が山積しています。

今後も夢を持って安心して暮らせる美浜町に、議会が町民の視点に立ち町とも議論を重ねてまいりたいと考えていますので、町民の皆様のご協力を重ねてお願い致します。



令和4年美浜町議会構成が変わりました

第18期 美浜町議会構成表

議長	山口和治
副議長	高橋修

議会運営委員会	
◎委員長	竹仲良廣
○副委員長	河本猛雄
	兼田和雄
	高橋修之
	辻井雅之
	藤本悟

- ◎…委員長
嶺南広域行政組合代表
環境衛生組合議会議長
消防組合代表
小浜病院組合常任委員
- …副委員長

予算決算常任委員会

- ◎高橋修
- 兼田和雄
- 幸丈佑馬
- 中牟田春子
- 上道正二
- 梅津隆久
- 河本猛
- 辻井雅之
- 川畑忠之
- 松下照幸
- 崎元良栄
- 藤本悟
- 竹仲良廣

総務文教常任委員会

- | | |
|-------|-------|
| | |
| ◎兼田和雄 | ○川畑忠之 |
| | |
| 幸丈佑馬 | 梅津隆久 |
| | |
| 河本猛 | 藤本悟 |
| | |
| | 竹仲良廣 |

副議長あいさつ

副議長 高橋 修



この度、3月の定例議会において、引き続き副議長に就任させて頂きました。議長を補佐し、「信頼される議会」を目指して誠心誠意微力を尽くします。よろしくお願いします。

12年ぶりの選挙戦という形で第18期の町議会議員選挙が行われ、新たに14名が選出されました。初当選、2期目、そして3期目の議員にとっても初めての有権者の審判であり、それぞれ事情はあるものの、重く受け止める必要があると考えます。

この選挙について、3月4日の福井新聞に「議会に緊張感期待」という記事が載りました。その中に「一般質問した議員はほぼ同じ顔ぶれ」「委員会でも議論が深まらない」として「最近の議会は行政のいいなり。これじゃ何のためにあるのかわからん」という記述もありました。私には思い当たることが多く、大いに反省しなければならぬと考えています。

選挙を通じて、多くの皆様から、お叱り、ご意見・ご要望等を頂戴しました。また選挙期間中、町内をくまなく巡り、地域の実情を目の当たりにすることもできました。今後の議会活動の大きな糧にしたいと考えています。

ご承知の通り「少子高齢化と人口減少」の危機が迫っています。

一方、百年に一度のチャンスと言われる「24年春の新幹線敦賀開業」を機に、多くの大型事業が進められています。

そして、エネルギーを巡る社会動向が激しく変化し、原子力政策にも大きな進展の兆しがあります。

議会は、そうした重要かつ困難な課題に立ち向かい、皆様の多種多様なご意見を進んで拝聴して考え、「頼りになる議会」を目指して研鑽・努力しなければなりません。

どうか皆様の忌憚のないご意見・ご要望等を、気軽にお寄せ頂きますようお願い申し上げます。

産業厚生常任委員会



◎中牟田 春子



○辻 井 雅之



上 道 正 二



高 橋 修



河 本 猛



松 下 照 幸



崎 元 良 栄



原子力発電所特別委員会

- ◎藤 本 悟
- ◎辻 井 雅之
- ◎幸 兼 田 雅佑
- ◎中牟田 和春
- ◎上高梅 道正
- ◎河川松 隆
- ◎崎竹 元 忠
- ◎元 仲 良
- ◎田 道 久
- ◎橋 津 猛
- ◎本 畑 之
- ◎川 下 幸
- ◎松 崎 栄
- ◎崎 竹 廣

議会広報特別委員会

- ◎兼 田 和 雄
- ◎中牟田 春 子
- ◎梅 津 隆 久
- ◎河 本 猛
- ◎川 畑 之
- ◎崎 竹 元 栄

嶺南広域行政組合議会

- ◎高 橋 修
- ◎山 口 和 治

地域づくり拠点化整備特別委員会

- ◎高 橋 修
- ◎幸 兼 田 雅
- ◎中牟田 和春
- ◎上高梅 道正
- ◎河川松 隆
- ◎崎竹 元 忠
- ◎元 仲 良
- ◎田 道 久
- ◎橋 津 猛
- ◎本 畑 之
- ◎川 下 幸
- ◎松 崎 栄
- ◎崎 竹 廣

美浜・三方環境衛生組合議会

- ◎山 口 和 治
- ◎上高梅 道正
- ◎崎竹 元 忠
- ◎藤 本 悟
- ◎河川松 隆
- ◎崎竹 元 栄

敦賀美方消防組合議会

- ◎竹 幸 廣
- ◎河 本 猛
- ◎崎 竹 元 栄
- ◎元 仲 良
- ◎田 道 久
- ◎橋 津 猛
- ◎本 畑 之
- ◎川 下 幸
- ◎松 崎 栄
- ◎崎 竹 廣

公立小浜病院組合議会

- ◎中牟田 春 子
- ◎兼 田 和 雄
- ◎川 畑 之

福井県後期高齢者医療広域連合

- ◎山 口 和 治

会計 補正予算

4億2,515万7千円

災害に強いまちづくり基金 **積立**

災害時の住民の安全・安心を確保

4,011万3千円



道路の補修・舗装工事、水路等の改修工事、施設の改修等を実施（イメージ）

1億円

庁舎改修基金 **積立**

新規就農支援事業

286万円

令和3年度 一般

専決承認

緊急補正額 3,142万5千円

コロナウイルス感染症対策

がんばる美浜町事業者応援支援金

積雪量の増加による除雪対策

除雪対策委託料
凍結防止剤散布委託料

要配慮者等屋内退避施設整備事業

東小学校・中央小学校に続き

西小学校体育館 整備

体育館全体を陽圧化することにより外部からの放射能侵入を防ぐ

2億5,800万円



体育館外観 (改修前)

127億9,883万円

キャッシュレス決済の新規導入 (導入予定 令和4年9月)



- 出納事務窓口でのキャッシュレス化推進
【役場庁舎】 出納室、住民環境課、税務課
【出先施設】 なびあす、若狭国吉城歴史資料館、総合体育館、きいばす

504万5千円

若者のチャレンジによるにぎわいの創出

- プロジェクトチームを作り、調査・方向性の取りまとめ
- 「なびあす若者ファンづくり事業」によるにぎわい創出



1,650万1千円

地域公共交通計画の策定



- 新幹線敦賀開業にともなう2次・3次交通の充実
- コミュニティバスの利用満足度調査
- 交通事業者や医療福祉関係者、教育関係者等のニーズ把握
- 町民ニーズ把握

700万円

観光おもてなし環境整備

- 街道魅力アップ事業
除草・雑木伐採及び側溝清掃等、除草3回/年
(町道北田菅浜線、坂尻太田線、梅街道 他)
- おもてなし環境美化(道路沿い植栽等)
- 環境美化活動を行う団体への補助金交付

880万円



防災力の向上

- 非常用発電機の整備 (5億5,066万2千円)
無給油連続運転時間72時間(3日間)可能な非常用発電機及び燃料タンクを整備し災害対応力の強靱化を図る
【役場庁舎】 発電容量: 300kVA 燃料タンク: 5,000ℓ+950ℓ
【はあとびあ】 発電容量: 300kVA 燃料タンク: 5,000ℓ+950ℓ

- 津波ハザードマップの更新 (597万7千円)
- 指定避難所のWi-Fi整備 (280万8千円)
- 防災アプリの機能強化 (720万)

5億6,664万7千円

美浜町あいあいポイントアプリの運用開始

高齢者が積極的に活動し、健康寿命を伸ばすために、これまでのポイント手帳と併せて、スマートフォンアプリを活用し、地域活動の情報を取得、住民同士のネットワーク構築にもつながるよう制度の充実を図る



92万8千円

令和4年度予算



一般会計 86億6,254万円

特別会計 38億2,622万円

企業会計 3億1,007万円

コンビニで証明書交付

2,941万6千円



提供開始予定
令和4年12月より

住民票の写し
印鑑証明書
戸籍謄本・抄本
戸籍の附票の写し
所得課税証明書



早朝から夜まで (6:30~23:00) 土曜・日曜・祝日も対応

三方五湖観光促進

3億1,039万4千円

- 新美浜町レイクセンター (仮称) の整備
野外デッキ・浮き桟橋の整備 (2億8,489万4千円)
- サイクリングコースの整備
日向湖西側・久々子湖東側等 (550万円)
- 多言語案内板の整備 (2基)
新美浜町レイクセンター (仮称) (200万円)
道の駅「はまびより」 (550万円)



常任委員会の動き

3月定例会は、予算決算常任委員会に議案8件、総務文教常任委員会に議案9件と陳情1件、産業厚生常任委員会に議案6件が付託され、詳細な審議を行いました。



詳細な内容は議会ホームページをご覧ください▶

<https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/site/town-council/>

予算決算常任委員会

議案第16号 専決処分
の承認を求めること
について(令和3年度
美浜町一般会計予算
第8号)

問

コロナ禍の経済
支援金6200
万円について、町独
自の施策が見えてこ
ない。

回答

「がんばる美浜町事業」は
者応援支援金事業」は
全県で美浜町のみが行って
おり、県支援金に上乘せす
る形で支援している。

問

除雪対策は委託業者に
よって時間がバラバラ
なため雪だまりが出来る。
業者から「行政の統一性が
欲しい」との声がある。

回答

積雪10センチを超えた
場合に指示を出してい
るが複数エリアを受け持っ
ている業者がいて全てが同
じ時間に動くことが出来な
い。一カ所で手間取ると次の
場所が遅れることもあり、不
具合が生じる。子供たちの安
全確保の観点から来年度に向
けて対策を検討したい。

議案第17号 令和3年度美浜
町一般会計補正予算(第9号)

問

はあとびあの大規模
改修事業は、どの程
度の規模なのか。

回答

今後外壁等の改修を予
定し、計画的に進めて
いきたい。

問

中山間地域総合整備
事業の減額の理由は、
何か。

回答

県営事業のパイプライ
ン付け替え工事で、舗
装工事を仮舗装と本舗装で
予定していたが本舗装一度に
したことによる減額である。

問

要配慮者等屋内退避
施設が西小学校に2億
5800万円で整備される。
これは東小学校と中央小学校
に整備されたものと同じか。

回答

東小学校と中央小学校
の防護対策はいずれも
体育館の中にシェルターを
設ける形のドームテント方
法である。西小学校は体育
館全体を陽圧化する方法で
整備したい。

総務文教常任委員会

議案第24号 押印の廃
止等に伴う関係条例の
整備に関する条例の制
定について

問

押印の廃止は、固
定資産評価審査
委員会条例の一部改正
と美浜町火入れに関
する条例の一部改正に
よって押印を廃止する
ことに限定されてい
る。これにより他の行政手続
きにおける押印等の廃止も完
了するのか。

回答

今回条例で規定してい
る他に条例の委任を受
けた規則が60本あり、要綱
が95本、規程が8本、合計
163本が現在押印を必要
としているが、条例でない
ため4月1日に向けて廃止
をすることとしている。

議案第25号 美浜町職員の育児
休業等に関する条例の一部を
改正する条例の制定について

問

行政のサービスが低下
することはないのか。
今回の改正は、非常勤
職員が該当するが、実
態は少なく、事務分担や人
員配置で対応出来ると思え
ている。

産業厚生常任委員会

議案第32号 美浜町レ
クセンターの設置及び
管理に関する条例の全
部を改正する制定につ
いて

問

遊覧船の値段は、
貸切5万円、大
人2500円、子ども
1250円となってい
る。これで乗客は乗っ
てくれるのか。

回答

今回の条例に定める乗
船金額は、あくまでも
上限金額と考えて頂き、こ
の金額を基に指定管理者で
料金を設定していくことにな
る。

議案第35号 美浜町予防接種
健康被害調査委員会条例の
制定について

問

健康被害とは、どの程
度のことをいうのか。
入院を要する方や重篤
な障害のある方、予防
接種によって死亡された方
等は調査対象の健康被害者
となる。被害の補償は委員
会が調査して最終的には国
が判断することになる。

2月臨時会・3月定例会 議案

3月定例会最終日には、契約議案1件、同意案件4件、諮問議案3件とが追加提出されました。また、発委第1号「シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出について」が提出されました。

2月臨時会

議案番号	件名	委員会付託	議決結果	対応ページ
議案第1号	令和3年度美浜町スマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業地域づくり拠点化施設基盤整備工事請負契約について	—	可決	P10
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度美浜町一般会計補正予算(第7号))	予算決算	可決	
議案第3号	令和4年度美浜町一般会計予算		可決	P6・7・10
議案第4号	令和4年度美浜町診療所事業特別会計予算		可決	
議案第5号	令和4年度美浜町国民健康保険事業特別会計予算		可決	
議案第6号	令和4年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計予算		可決	
議案第7号	令和4年度美浜町介護保険事業特別会計予算		可決	
議案第8号	令和4年度美浜町簡易水道事業特別会計予算		可決	
議案第9号	令和4年度美浜町集落排水処理事業特別会計予算		可決	
議案第10号	令和4年度美浜町公共下水道事業特別会計予算		可決	
議案第11号	令和4年度美浜町産業団地事業特別会計予算		可決	
議案第12号	令和4年度美浜町住宅団地事業特別会計予算		可決	
議案第13号	令和4年度美浜町道路用地取得事業特別会計予算		可決	
議案第14号	令和4年度美浜町上水道事業会計予算		可決	

3月定例会

議案番号	件名	委員会付託	議決結果	対応ページ
発議第1号	原子力発電所特別委員会の設置について	—	可決	
発議第2号	議会広報特別委員会の設置について		可決	
発議第3号	地域づくり拠点化整備特別委員会の設置について		可決	
議案第15号	令和3年度美浜町スマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業駅前広場シェルター整備工事請負契約について	—	可決	P10
議案第16号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度美浜町一般会計予算(第8号))	予算決算	可決	P5・8
議案第17号	令和3年度美浜町一般会計補正予算(第9号)		可決	P4・5・8・10
議案第18号	令和3年度美浜町診療所事業特別会計補正予算(第2号)		可決	
議案第19号	令和3年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		可決	
議案第20号	令和3年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		可決	
議案第21号	令和3年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)		可決	
議案第22号	令和3年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)		可決	
議案第23号	令和3年度美浜町産業団地事業特別会計補正予算(第2号)		可決	
議案第24号	押印の廃止等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について		可決	P8
議案第25号	美浜町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決	P8
議案第26号	美浜町一般職の職員の給与に関する条例及び美浜町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決	P10
議案第27号	美浜町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決	P10
議案第28号	美浜町公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	可決	
議案第29号	美浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について		可決	P10
議案第30号	美浜町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決	
議案第31号	美浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		可決	P8・10
議案第32号	美浜町レークセンターの設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例の制定について	総務文教	可決	
議案第33号	美浜町地域公共交通会議条例の制定について		可決	
議案第34号	美浜町役場庁舎改修基金条例の制定について	産業厚生	可決	P8
議案第35号	美浜町予防接種健康被害調査委員会条例の制定について		可決	P10
議案第36号	美浜町廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の制定について		可決	
議案第37号	美浜・三方環境衛生組合規約の変更に関する協議について	総務文教	可決	P10
陳情第1号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出について		採択	
議案第38号	令和3年度美浜町スマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業美浜駅前シェルター整備工事請負契約について	—	可決	
同意第1号	副町長の選任につき同意を求めることについて		可決	
同意第2号	美浜町監査委員の選任につき同意を求めることについて		可決	
同意第3号	美浜町監査委員の選任につき同意を求めることについて		可決	
同意第4号	美浜町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて		可決	
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		可決	
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		可決	
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		可決	
発委第1号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出について		可決	

※略称 <予算決算> 予算決算常任委員会 <総務文教> 総務文教常任委員会 <産業厚生> 産業厚生常任委員会

賛否が分かれた議案

議席順に掲載(○賛成 ×反対 -欠席 □退席)し、反対または退席があった議案だけ載せています。

2月臨時会 ※議長(竹仲良廣)は採決に加わりません。

議案番号	仲嵜	高橋	寺田	梅津	河本	辻井	川畑	松下	崎元	山口	兵庫	北村
議案第1号	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○
議案第3号	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○

3月定例会 ※議長(山口和治)は採決に加わりません。

議案番号	幸丈	兼田	中牟田	上道	高橋	梅津	河本	辻井	川畑	松下	崎元	竹仲
議案第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第17号	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○
議案第26号	×	○	×	○	×	○	×	○	○	×	○	○
議案第27号	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○
議案第29号	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	○	○
議案第32号	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○
議案第33号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
同意1号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○

討論概要

2月臨時会

◎議案第1号 令和3年度美浜町スマート
コンパクトシティ魅力創造拠点化事業
地域づくり拠点化施設基盤整備工事業
費契約について

【反対討論】

「道の駅」の建設工事にかかわる予算
を認めていない。(河本議員)

◎議案第3号 令和4年度美浜町一般
会
計予算

【反対討論】

必要性を感じない「新レークセンター、
電池推進船」、「道の駅整備」に関係する
事業の予算が計上されている。(河本議員)

3月定例会

◎議案第15号 令和3年度美浜町スマート
コンパクトシティ魅力創造拠点化事業
駅前広場シエルトー整備工事業費契約
について

【賛成討論】

雨よけはJ-R美浜駅を利用する町民の
利益になる。(河本議員)

◎議案第17号 令和3年度美浜町一般
会
計補正予算(第9号)

【反対討論】

道の駅建設は中止するべきであり、内
装部分に関わる工事請負費を来年度に繰
り越す本議案は認めない。(河本議員)

◎議案第26号 美浜町一般職の職員の給与
に関する条例及び美浜町一般職の任期付
職員の採用及び給与の特例に関する条例
の一部を改正する条例の制定について

◎議案第27号 美浜町特別職の職員で常
勤のものの給与及び旅費に関する条例
の一部を改正する条例の制定について

【反対討論】

一般職の国家公務員の給与改定等に美
浜町が従う義務はない。地方には地方自
治に見合った理由や実情で、特別職、一
般職の給与を決めるべきだ。(河本議員)

◎議案第29号 美浜町国民健康保険税条例
の一部を改正する条例の制定について

【反対討論】

国と県の財源措置が不十分。子育て世
帯にはとりわけ重い人头税と言われる子
どもの均等割を廃止するのが国の責任。

◎議案第32号 美浜町レークセンターの
設置及び管理に関する条例の全部を改
正する条例の制定について

【反対討論】

設置に反対しているので必要性がない。
旧条例の改正ではなく、廃止するべき。

◎議案第36号 美浜町廃棄物の減量及び
適正処理に関する条例の制定について

【賛成討論】

町行政は65円高くなっていったゴミ袋の
価格差を解消する。町民にとって大きな
利益になると高く評価している。(河本議員)

◎陳情第1号 シルバー人材センターに
対する支援を求める意見書の提出につ
いて

【賛成討論】

インボイス制度の導入は中止すべきで
ある。町民からの陳情を採択し、国に意
見書を提出することに賛成。(河本議員)

シルバー人材センターに対す
る支援を求める意見書の提出
について(概要)

令和5年10月に、消費税にお
いて適格請求書等保存方式(イ
ンボイス制度)が導入され、同
制度の導入後、消費税を算定す
る上で仕入税額控除は、税務
署に申請して登録を受けた消
費税課税事業者が発行するイン
ボイスに記載してある消費税額
によることとなります。しか
し、シルバー人材センターの会
員のような年間課税売上高が
1000万円以下の事業者は消
費税の納税義務が免除されてお
り、インボイスを発行すること
ができません。従って、会員へ
支払う配分金(消費税が含まれ
ている)については、これまで
で仕入税額控除ができていたも
のができなくなり、その分をシ
ルバー人材センターが新たに納
税する必要が生じることとなり
ます。しかしながら、シルバー
人材センターの運営は取支相償
が原則であり、新たな税負担の
財源はなく、まさに運営上の死
活問題となります。つきまして
は、消費税制度においては、小
規模事業者への配慮として、年
間課税売上高が1000万円
以下の事業者は消費税の納税義
務が免除されているところであ
り、少額の収入しかない会員の
手取額が減少することなく、ま
た、シルバー人材センターが安
定的な事業運営が可能となる措
置を講じていただきますよう、
国に対し、意見書を提出するよ
う求めます。



こうもと たけし 議員
河本 猛

幅広い原油高騰対策は町民の支援になる！
 ⑥ いずれが効果的なのかという視点に立つて対応していきたい

問 国は原油高騰対策で自治体が原油価格高騰の影響を受けた人や事業者への助成をした場合、必要額の2分の1を国が補助するという特別交付税措置を行っている。これは生活困窮者の灯油購入や施設の暖房費、農林水産業の燃油購入などの財源に活用できる。国の特別交付税措置を美浜町は使えないのか。

総務課長 今後、特別交付税を活用しながら制度の充実に努めたい。

問 5千円分の券で燃料費を補助することを決めた高浜町の施策はよく考えられている。農機具、漁船、施設暖房費、車など、幅広い業種から一般家庭でも使える幅の広い原油高騰対策は町民の支援になる。同じ原発立地の自治体でありながら、高浜町は燃油の補助をやっている。だったら美浜町もやればいい。やらないのか。



町長 薄く広くやるのか、問題をしっかりとたいて集中的にやるのか、いろいろ方法はあると思う。いずれが効果的なのかという視点に立って対応していきたい。

意見 町民の目線、困っている人の目線に立って施策を掲げるよう強く求めておく。

シジミのブランド化、稚貝の養殖から始めて人材を確保すべき！
 ⑦ 浅場造成による自然繁殖への取り組みを進めていきたい

問 全国でも産地が限られた価値のあるシジミのブランド化に向けて、本気で取り組むのであれば稚貝の養殖(種苗生産)から始めて人材を確保するべきである。生産・販売・消費を拡大させるだけでなく、現在も行っているシジミ漁



の体験など、内水面漁業で三方五湖(久々子湖)に関わる人を増やすべきだ。地元での稚貝養殖(種苗生産)をどのように考えるのか。

産業振興課長 シジミの稚貝養殖は異常気象や災害などにより稚貝の供給量が確保できなかった場合を除き、形質的な観点から全国的には行われていない。

また、地元漁協と専門家で協議した結果、浅場造成による自然繁殖への取り組みを進めていきたいと考えているため、地元での稚貝養殖については今のところは考えていない。

意見 シジミが育つ環境が水質の浄化につながる、三方五湖(久々子湖)に関わる人が増えれば環境も整っていく。生業が好循環していく環境が世界農業遺産にも近づいていく。美浜は久々子湖、日向湖を中心として、繰り返し人が来たくなり、関わりたくなる生業・環境・観光で、人が集まる場所にしていく更なる努力が必要だ。





たかはし おさむ
高橋 修 議員

人口目標の大幅未達原因と反省は

問 2025年の人口目標9400人を、計画5年後の昨年、早くも8832人に引き下げたのは失策と思うが、原因と反省を問う。

町長 住宅分譲が進み若年層の転入は確保できたが、労働生産型の企業誘致ができなかった。コロナ禍で出産手控えもあった。住宅団地と産業団地の整備効果を見込んでいたが、一朝一夕にはいかなかった。ここ5年の出生率と出生数は想定以上であるが、子供のいる家庭や大学卒業世代の定住・移住が課題である。

修正目標8832人達成見込みは

問 今年3月1日の人口は9098人。9000人を切るのは時間の問題である。修正目標「25年に8832人」は本当に達成できるのか。

まちづくり推進課長 ①若者、特に女性の転入促進と転出抑制②子育て世代の転入促進と転出抑制③高齢者の健康寿命の延伸施策を展開する。

意見 希望的政策でなく、目標必達を読み切る具体施策が必要である。

40年目標7900人その根拠は

問 昨年の見直しで、40年の人口目標を、人口問題研究所の推計が6571人にも拘らず、7900人に据え置いたがその根拠は何か。

まちづくり推進課長 人口問題研究所の推計に対し、以下の4施策をしっかりと推進して実現したい。

中学生以下の給食費の無償化を

意見 ①出生率を40年までに2.19にアップ②若者の転入超年間17人③子育て世代の年間8世帯増④健康寿命を県内トップクラスにアップ これらへの施策は、従来とかなり変わらぬ。これまで美浜の人口は、人口問題研究所の推計以上に減少しており実現は至難の業である。

問 人口減少対策の要は、子育て世代と若者の定住・移住の促進だが、全市町が取り組んでおり、地域間競争に勝つための決断が必要である。

意見 一例として、明石市は子供を核として以下の①④⑤の所得制限なしの無償化施策により、9年連続で人口が増加しており有名である。①高校生以下の医療費②中学生の給食費③第2子以降

増え続ける空家 どう対処するのか

問 人口が急激に減少して空家が増え、倒壊されるが、行政はどの様な認識と対応方針を持っているのか。

町長 現在、町内の空家は314軒、高齢者世

帯が1200近くあり重要な課題である。「空家を作らない・利活用する・しっかりと維持管理する」を柱に各種施策を進めている。

土木建築課長 ふるさと福井サポートセンターによる利活用促進、空家取得・改築等への補助、特定空家の解体撤去の促進等を進めている。

意見 それらの内容は分っているが、それだけでは追いつかないと思う。

意見 困難な問題であるが、住民にも参画を求め、具体的な問題の共有と対策を早く進める必要がある。リーダーシップは行政が取らねばならない。

意見 道の駅・はまべリー・レイクセンター等の事業が姿を見せてきた。成功に向け努力と協力が不可欠だが、それらが持続的に、人口減少の改善に繋がるとは考えにくい。

これらの事業に加えて、町民の多くが人口減少に向き合い、自らが何をすべきか・何ができるのか、大きな議論を始めるべきである。行政のリーダーシップに期待する。



つじ まさゆき
辻井 雅之 議員

小・中学校の ICT学校教育 の現状は

◎予想以上に速いペー
スの取り扱いには先生
もビックリ

問 昨年からは始まった、小中学校の生徒全員に1人1台のタブレット端末機を持たしたICT教育が始まっている。実際授業でこの端末機はどの様に使われているか。

教育長 コロナ禍にあつて、国が当初の計画を前倒しして、タブレットを配

備した。予想以上のペースで先生方や生徒も慣れて来ており、各学年においても興味と感心も示しながら使い方を実践している。また、中学校は最新学習ソフトの導入を予定している。

**教育委員会
事務局長**

授業は、発表ノートという学習ソフトを利用して、発表資料の作成、教室の大型モニターに映し、一人ひとりの考え方を皆でリアルタイムに共有できる様になった。体育の授業では、カメラ機能も使い、動画撮影で機能を発揮している。中学校の英語授業では、コロナ禍対応で、オンライン会議システムも使っている。また、デジタルドリルを導入して充実を図って行く。本町の特色である「エネルギー環境教育」や「地域愛学習」においても有効に活用して行きたい。

意見

児童生徒により、得て、不得手もあり、教える方も大変だと思いが、それぞれに負担があつてはならない。楽しい授業でなければ学力は伸びない。



若者の定住促進 策は

◎人口減少対策の視点
として複合的な取組み
を行う

問

人口減少、生産人口の減少は国の繁栄、存続問題にも繋がりがかねない。美浜でも若者の町外流出が止まらない中、この4月から38区目の「美し野区」の誕生があり、人口増加は、町にとって明るい話題である。今年度は西郷地区に新しい住宅分譲地の整備が行われる予定だが、他の定住促進策はあるのか。

町長

若者、特に女性や子育て世代の転入の促進と転出抑制を掲げ、様々な施策を複合的に取組み、若い世代に支持される定住環境を整えていく。

**まちづくり
推進課長**

新生活生活支援対策として、新婚世帯に対し敷金、礼金や引越し費用等を支援する。賃貸対策として、アパート等に入居する新婚世帯や子育て

て世帯に対し家賃の補助、さらに、多世帯同居、近居支援対策として、目的に応じ住宅取得やリフォームの補助を行う。また新年度から若者のUターン支援策として、奨学金返済支援事業を設けた。町民の住み良い環境整備を図り複合的な取組みで定住・転入促進に取り組む。

危険な廃屋空き 家の対策は

◎周囲の安全も確保す
ることが重要となる

問

町内の具体的な空き家の数字は、空き家が314軒、崩壊や倒伏など危険な特定空き家が32軒、準特定空き家が16軒と聞いたが、今後危険を伴う空き家問題をどの様に対処していくのか。

**土木建築
課長**

空き家は原則、該当空き家の所有者の責任において行われるもので、行政は段階を追って

指導を行っている。危険空き家の解体撤去等には補助金制度が適用され所有者に指導するが、危険な状況が逼迫している時は必要最低限の措置を講じる。





かわばた ただき
川畑 忠之 議員

①情報化社会の推進について！

まちづくり推進課長 インターネット通信環境整備によって、新しい価値やサービスを提供し、住民の幸福度を上げることを目指す。

②道の駅を中心にした美浜駅からなびあすまでのにぎわいゾーン整備は！

土木建築課長 美浜駅前から役場前までの区間整備の中、道の駅は駐車場等の整備、美浜駅のトイレ改修、駅舎本体の改修、駅前広場のロータリー、駐車場、歩道シェルター工事を進め、にぎわいゾーンの確

後期基本計画5年間の優先施策は！

- ① キーワードは五つ！①情報化社会の推進。
- ② にぎわいゾーン整備。
- ③ 北陸新幹線敦賀開業。
- ④ 地域力向上。
- ⑤ 人口減少対策。を優先施策とする。

第五次美浜町総合振興計画による政策について！

後期基本計画は、選択と集中により、施策の実現を図る。また、まちづくりの目指す方向性をみえる化し、町が進めるべく施策過程を分かりやすく示すことが出来ている。今後もその思いが浸透して、町民の理解と意識醸成につながるよう努めていきたい！

保に努める。

③北陸新幹線敦賀開業について！

まちづくり推進課長 百年に一回のチャンスなので、観光施設の整備、地域資源の掘り起こし、国内外への誘客活動の推進を展開していく。

④地域力向上について！

まちづくり推進課長 まちづくりのための推進力として地域力の強化を図ってきた。特に集落元気プランの策定や自主防災組織の設立、福祉委員の設置等、町民と地域の課題を共有して解決していきたい。

⑤人口減少対策について！

まちづくり推進課長 移住定住支援、空き家対策の活用支援、Uターン者への支援の他、新たな分譲地整備を計画している。

⑥保健福祉センターはあとぴあの空調設備について！

問 利用者から館内が寒いという声が出ているが、昨年修繕工事した空調は効果的に使用できているのか。

健康福祉課長 はあとぴあの空調設備機能は、問題なく運用できている。館内が寒いというのは、新型コロナウイルス感染症の発症リスクを下げるための換気が原因と考える。複数の空調設備を調整して、電力の急激な上昇を抑え、短時間で電気使用料が急増するこ

となく調整しているもので、効果的に使用できている。



⑦保健福祉センターはあとぴあの風呂の状況について！

問 午前中風呂の温度が上がらず入れない時があるというのか。ポイラーに問題があるのか。

健康福祉課長 ポイラー設備は適正に維持管理に努めているが、老朽化が進んでいるので、ポイラーの機能診断により、修繕か取替えについて早急に検討する。

⑧保育園の空調設備の状況は！

問 保育園のエアコン、床暖房が効果的に使われているのか。鼻水を出している園児がいると聞くが。

健康福祉課長 空調整備は、国の建築設備設計基準に基づき最適な機器を設置し、年2回の点検、清掃を行うことで適正温度を維持している。保育室やホールは床暖房と併用し、小さな子供に快適な空間となるよう工夫をしている。

⑨保育園の使用する最大電力量は！

問 施設が使用する最大需要電力、デマンド値が施設の電気使用量にあっているのか。

健康福祉課長 複数の空調を一齐に起動すると電気料金が増える恐れがあるため、段階的に保育室の暖房をつけて、適正な温度管理とコスト削減に努めている。快適な温度設定になるように最大需要電力について検討をしたい。



たけなか よしひろ
竹仲 良廣 議員

有事による原子力施設攻撃の対応策は

滋賀県に通ずる南北道路の必要性は高まった。この整備実現を強く求めて行く。

配備の実現に向けて県や関係市町と緊密に連携し、取り組んでいく。

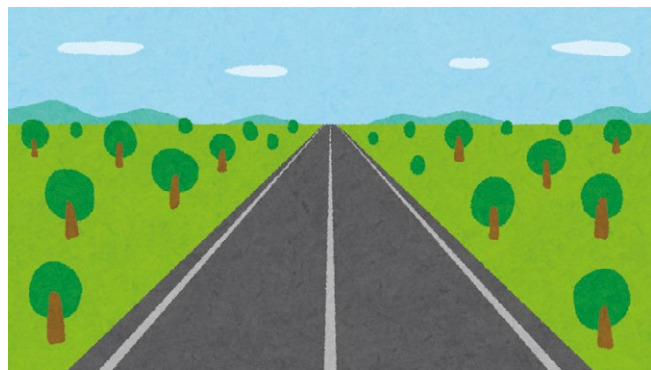
問 美浜原子力発電所が軍事攻撃を受ける可能性が否定できなくなつた。被害を軽減するため

に、いち早く使用済み核燃料をプールから搬出し金属キャスクに入れ保管することが必要だ。事業者が示す2023年に県外候補地を確定し、その後の中間貯蔵施設建設で間に合うと考えるのか。

町長 金属キャスクに移すには燃料プールで約15年以上の冷却期間を取ることとしており、稼働する原子力発電所の燃料プールは、必要な施設と言える。県では一貫して使用済み燃料の県外搬出を求めている。町としても引き続き国や事業者の取組を注視していきたい。

問 福井県知事は国への緊急要請の中で武力攻撃時の進展に応じた避難道路や避難手段について具体的に示すように求めたが、美浜町では今、避難道路の拡充を求めている。特

に南北に避難する道路がないのはこの嶺南地域で美浜町だけである。この際、県や国に対し改めて強固にこの道路整備を訴える必要があると思うが。



町長 このような事象が露呈したことから、こうした要望の重要性、必要性がこれまで以上に高まったものと考えている。今後、本道路の整備実現に向け、町議会や道路期成同盟会とともに、実情懸念を訴えるなど、各方面に強力に要請をしていく。

町内での食料自給率を高め地産地消の実現を

地域でとれた食物を容易に販売できるシステムの構築を実現したい。

問 先のウクライナ侵攻争が起こつたり、経済制裁が行われると途端に社会が成りゆかない状況になる。それに備えなければならぬ。地域でとれたものを地域で消費する。まさに地産地消を今こそ実現していかなければと考える。小さな町だからこそ実現できると思う。美浜町でその挑戦をする考えはないか。

町長 肉、野菜、いろんな食べ物が多数ある。それを全て賄うというのは、非常に課題が多くある。国単位でその食料自給率を上げるための取組をしっかりと進めることが大事である。

我々も地産地消を少しでも進めていけるように、

しっかりと機会を捉えて取り組んでいきたい。

問 ハートフル朝市のような場所の提供頻度を増やしてはどうか。家庭菜園でとれた野菜など近所に配つたり、友人へ持っていったりしているが、それでも余る時がある。形は曲がっていても、大小があつてもよいではないか、それらを理解して購入できるシステムの構築をしてはどうか。

町長 地産地消をしっかりと進める上で、また農業の活性化を図る上で、またそれに携わっている例えば高齢者の方々の生きがいづくり、そういったものを進める上でも非常に必要だと思う。機会を捉えてそのシステムを構築していきたい。

道の駅の整備と併せ、生産者の声を聞きながら流通システムの構築をはじめ、規格外の農産物の販売や参加しやすい仕組み、そういったものを検討したい。

がんばる人

シリーズ
第1回



プロフィール

おおしま かつき
大嶋 巖 さん
名古屋市出身 37才
鹿児島大学 水産学部卒
家族思いの愛妻家

美浜町(菅浜)で漁師になろうとしたきっかけはなんですか？

子供の頃より、毎年夏になると家族で日向の海に遊びに来ていたうちに、子供心に漁師になりたいと思ったのが最初です。父の友人でせいさん(金精丸さん)という方の船に乗せてもらって、その姿を見て漁師に憧れるようになりました。大学を出て一時期営業の仕事をしていましたが、やはり漁師になりたいと美浜に来ました。せいさん夫妻のご厚意で住み込みで勉強させてもらっていた時に、市場で菅浜大敷網の網元である渡辺さんを紹介してもらい、それから14年間一緒に働かせてもらっています。

こちらで結婚されたのですか？

22才の時こちらに来て、妻は高校時代からの付き合いで、こちらに来てから結婚しました。保育士をしていて、今も生活を支えてくれています。子供が二人います、ここ(菅浜)で家を建てました。

お子様の教育は美浜の方はどうですか？

生徒数が少ないおかげで、丁寧に教えてくれると感じています。

将来の目標は何でしょう？

まずは一人前の漁師になることが目標です。最近、組合員に入れてもらい船を譲ってもらい、菅浜の笹井さんという方と一緒に船に乗り、サワラ漁などを教えてもらっています。

美浜町の議会に望むことは？

漁師をしたいという人が増える、そして親が自分の子供に仕事を継がせたいと思うような魅力のある業種にすることで地元の良い漁師さんが増えるような政策を考えて欲しいです。漁業を安定性、将来性、そして夢のある仕事になるようなビジョンを打ち出して欲しいです。

議会の課題 一次産業への支援と若い担い手の育成



編集後記

12年ぶりに選挙が行われて新しい顔ぶれが揃い心機一転、議員活動に励んでいます。美浜町も2年後の新幹線敦賀開通に向けて、やるべき問題が山積しています。観光美浜をどうアピールするか、あるいはコロナ禍の中のような支援体制を取るか。議会の課された責務は大きいと思います。町民の皆様の見を元にどう行政に反映させていくか問われるところだと思います。議員一同常に緊張感を持って職務に努めたいと思います。(兼田記)



美浜町議会広報特別委員会

- 【委員長】 兼田 和雄
- 【副委員長】 中牟田 春子
- 【委員】 竹仲 良廣・崎元 良栄
川畑 忠之・河本 良栄
梅津 隆久